

東日本大震災の対応⑩——高台移転などの復興工事が着々と進行中

本格化する復興工事に、総力を結集して対応してまいります。


東日本大震災から3年が経過しました。復興の障害となっていた瓦礫の処理もようやく目処が立ち、被災3県のうち岩手・宮城では2014年3月末には瓦礫の処理率が100%に達する見込みです。しかし、福島第1原発事故の影響で作業が遅れている福島では同年2月末現在の瓦礫の処理率が71%で、除染処理を伴う作業は今後も継続して行われます。 ※処理率は環境省発表の数値

また、岩手・宮城・福島の3県では「防災集団移転促進事業」、いわゆる高台移転が進められています。高台移転が行われるのは3県内の303地区、2014年1月末現在でそのうちの235地区が着工済みですが、引き渡し可能なのは全体の1割強にとどまっており、さらに急ピッチで進められることが望めます。

■防災集団移転促進事業（高台移転）の進捗状況（2014年1月31日現在）

	予定地区数	着工済み地区	引き渡し可能地区
岩手県	52	26	11
宮城県	194	172	9
福島県	57	37	15
合計	303	235	35

※出典：国土交通省資料

同事業を含め、道路・下水道・港湾・鉄道など社会インフラの復興に向けた工事が本格化するなか、当社は2014年2月に陸前高田営業所（岩手県陸前高田市）を開設するなど一層の「対応力強化」に努めております。当社グループは引き続き総力を挙げて被災地の復興に対応してまいります。 

フォトレポート：各地で進む復興工事の様子



石巻魚市場（宮城県石巻市）の建設工事



三陸自動車道（仙台市宮城野区—岩手県宮古市）の2車線化工事



仙台市青葉区で行われている地下鉄トンネル工事



仙台市内の地盤改良工事（流動化処理）の現場



復興を加速させる巨大ベルトコンベア（岩手県陸前高田市）

景勝地・高田松原で唯一残った「奇跡の一本松」の脇を通る総延長3キロの巨大ベルトコンベア。山を切り崩した高台に、新しく住宅地をつくるための造成工事で発生する大量の土砂を運び出し、平地部のかさ上げ工事に利用するものです。1日に運び出せる量はおよそ2万㎡で、ダンプカーで運ぶ場合の約3分の1に期間短縮できるとのこと。2014年3月から稼動しています。

陸前高田営業所

2月6日オープン

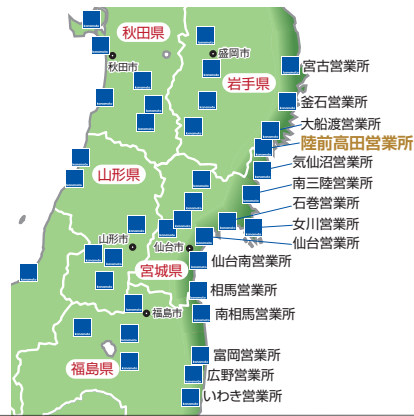


〒029-2203

岩手県陸前高田市竹駒町字館115-1

TEL: 0192-55-1311

FAX: 0192-55-6311



第50期第1四半期決算の概況 [平成25(2013)年11月1日から平成26(2014)年1月31日まで]

● 連結経営成績(累計)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期(当期)純利益 (百万円)	EPS (円)
第50期第1四半期	33,148(15.5)	5,651(45.6)	5,684(47.5)	3,346(55.6)	92.86
第49期第1四半期	28,687(37.2)	3,881(67.5)	3,852(77.0)	2,151(84.5)	65.52

● 連結業績予想

第50期第2四半期	59,600(8.9)	7,390(9.5)	7,030(4.7)	3,820(2.8)	105.99
第50期通期	117,500(6.0)	12,530(10.0)	12,090(9.2)	6,050(4.1)	167.87

(注)売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益における括弧内の数字は、前年同期増減率(%)を示しております。

[経営環境]

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、積極的な金融財政政策の効果が实体经济に波及しはじめ、円安基調の定着や株

価の上昇などと相まって、企業収益の改善や個人消費の持ち直しなどが広がり、景気は穏やかな回復基調で推移いたしました。

[第1四半期の連結業績]

当社グループが関連する建設業界におきましては、震災復興に伴う補正予算等の効果もあり政府建設投資は底堅く推移しており、さらに民間建設投資も好調な企業収益に支えられ穏やかな回復傾向が見られました。ただ一方で技術者・技能労働者不足による入札不調や原材料価格の高止まり等が顕在化するなど、建設動向は依然として不透明な状態が続きました。

このような状況のもと、当社グループは引き続き総力を挙げ復興関連工事への資源の集中や資産の効率稼働を推進する一方で、グループ企業との連携強化、現行業務プロセスの分析と改

善等を通じ企業体質の強化と財務基盤の改善に努めました。また、本年11月からスタートする新・中長期経営計画につきましては、今後の市場動向を踏まえて、事業戦略、地域戦略等の策定を鋭意進めております。

当第1四半期の連結売上高は331億48百万円(前年同期比15.5%増)となりました。利益面につきましては、営業利益は56億51百万円(同45.6%増)、経常利益は56億84百万円(同47.5%増)、また、四半期純利益は33億46百万円(同55.6%増)となりました。

連結財務諸表

連結損益計算書(累計)

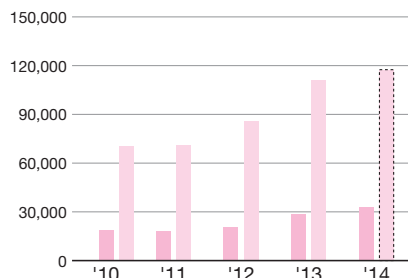
(単位:百万円)	第49期第1四半期 (2012.11.1~2013.1.31)	第50期第1四半期 (2013.11.1~2014.1.31)
① 売上高	28,687	33,148
売上原価	19,304	21,772
売上総利益	9,383	11,375
販売費及び一般管理費	5,502	5,724
② 営業利益	3,881	5,651
営業外収益	227	271
営業外費用	256	238
③ 経常利益	3,852	5,684
特別利益	24	19
特別損失	8	6
税金等調整前四半期純利益	3,868	5,698
法人税、住民税及び事業税	1,385	1,850
法人税等調整額	160	274
少数株主損益調整前四半期純利益	2,321	3,573
少数株主利益	170	226
④ 四半期純利益	2,151	3,346

連結包括利益計算書(累計)

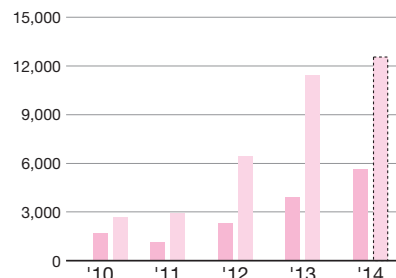
(単位:百万円)	第49期第1四半期 (2012.11.1~2013.1.31)	第50期第1四半期 (2013.11.1~2014.1.31)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,321	3,573
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	353	167
為替換算調整勘定	87	△ 25
その他の包括利益合計	440	142
四半期包括利益	2,762	3,715
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,573	3,489
少数株主に係る四半期包括利益	188	226

■ 第1四半期 ■ 通期 □ 通期予想 単位:百万円

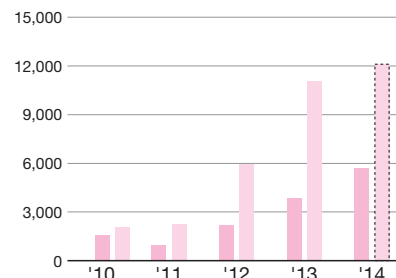
① 売上高



② 営業利益



③ 経常利益



連結貸借対照表

(単位:百万円)	第49期第1四半期 (2013.1.31)	第50期第1四半期 (2014.1.31)
(資産の部)		
流動資産	50,653	67,264
固定資産	95,918	109,220
有形固定資産	89,806	101,983
無形固定資産	401	295
投資その他の資産	5,710	6,941
⑤ 資産合計	146,571	176,484
(負債の部)		
流動負債	47,042	55,376
固定負債	55,594	61,570
負債合計	102,636	116,946
(純資産の部)		
株主資本	41,761	55,962
資本金	9,696	13,652
資本剰余金	10,960	14,916
利益剰余金	21,132	27,448
自己株式	△ 28	△ 55
その他の包括利益累計額	699	1,708
その他有価証券評価差額金	684	1,735
為替換算調整勘定	15	△ 27
少数株主持分	1,473	1,867
⑥ 純資産合計	43,934	59,538
負債純資産合計	146,571	176,484

とってもいいモノ 読者プレゼント

巻末のアンケートハガキをご返送していただいた方の中から、抽選で30名様にノベルティグッズをお贈りします。

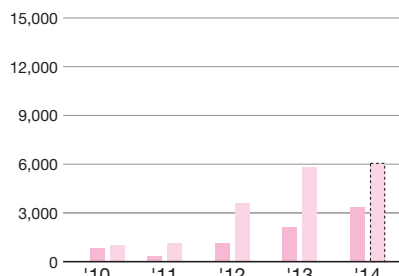
今号は、ゼブラ社製の多機能ペン「Clip-on multi (クリップ-オン マルチ)」をプレゼントいたします。「黒・青・赤・緑の4色ボールペン+シャープペンシル」の5機能モデルだから打ち合わせや外出時もこれ1本でとても便利! シャープペンシルのノックにもなっているクリップ部分に、当社ロゴを印刷したオリジナルバージョンとなっています。



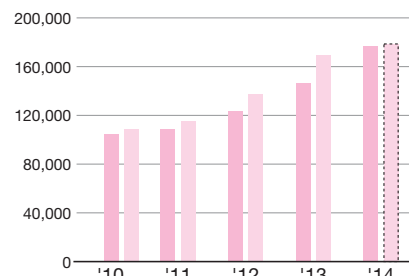
サイズ: 軸径14.0×全長148.5mm
重量: 15.4g

ご応募の締め切りは5月23日(金)当日消印有効です。
なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

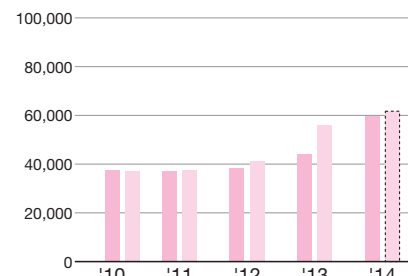
④ 四半期(当期)純利益



⑤ 総資産



⑥ 純資産



■ 第1四半期 ■ 通期 □□ 通期予想 単位:百万円